

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

令和7年度病害虫発生予察注意報第3号を発表したので送付します。

令和7年度病害虫発生予察注意報第3号

- 1 作物名 オクラ
- 2 害虫名 フタテンミドリヒメヨコバイ
- 3 発生地域 石垣市

4 注意報発令の根拠

石垣市における6月の調査の結果、本種の成幼虫数は1.71頭/葉（平年：0.38頭/葉）、発生ほ場率80.0%（平年：69.2%）となり、平年に比べ多発生となった（図1、図2）。

5 発生生態および被害

- (1) 国内では本県及び小笠原諸島、西日本で発生が確認され、オクラ、ナス、ハイビスカスで被害の報告がある。
国外では台湾、中国、インド等に分布し、ナス科（ナス、トマト、ジャガイモ）、アオイ科（オクラ、ワタ、ハイビスカス）、マメ科（ササゲ、ダイズ）の害虫として知られる。
- (2) 成虫は体長2.7～3.2mmで、頭胸部は黄緑色、上翅は半透明白色で翅の末端に一对の黒点がある。幼虫は全身がほぼ黄緑色で、3～5齢幼虫は胸部背面に4個の暗色斑を生じる（図3、4）。
- (3) 雌成虫は、葉脈に黄白色の卵を一度に15卵ほど産卵する。卵は4～11日で孵化し、幼虫期間は7～21日、成虫の寿命は35～50日で、年間7世代程度発生するとされる。本県では5～10月の発生が多い。
- (4) 成虫、幼虫ともに葉や茎を吸汁する。多発すると被害葉は黄変萎縮し、生長や収量に影響を及ぼす（図5、6）。

6 防除対策及び注意すべき事項

- (1) 定期的に葉裏を観察し、早期発見に努める。
- (2) 登録薬剤による防除を行う。

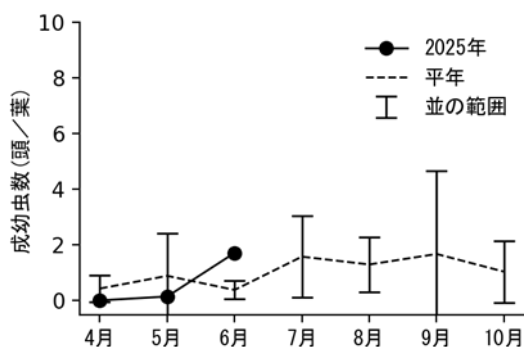


図1 フタテンミドリヒメヨコバイ
寄生虫数の発生推移

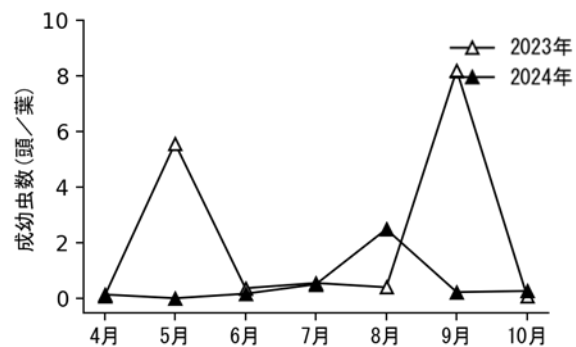


図2 フタテンミドリヒメヨコバイ
過去2年の発生推移



図3 フタテンミドリヒメヨコバイ（成虫）



図4 フタテンミドリヒメヨコバイ（幼虫）



図5 多発生時の様子（葉裏）



図6 吸汁による葉の萎縮症状

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL：（本所）098-886-3880、（宮古駐在）0980-73-2634、（八重山駐在）0980-82-4933

ホームページアドレス：<https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/nogyo/1010700/index.html>

